

議会報告

〔発行者〕

市議会議員 **渡辺 秀雄**

荒井字三本松21 ☎ 33-5841 fax 33-5851

Email : botansaita2007@gmail.com

Blog : http://hideo-watanabe.com/

一般会計からの支援をどう捉える 国民健康保険特別会計

6月は国保議会とも言われ、その年度の国民健康保険税の税率が審議された議会です。

国民健康保険（国保）の被保険者数は、

平成27年度 7,457人

平成28年度 7,031人

平成29年度 6,541人（市の人口の21.3%）と

年々減少しています。

平成28年度の6月の本算定時に6,500万円、12月に支払に不足が生じると1億円の計1億6,500万円を、一般会計から繰入れを受けていながら、今回決算見込みで2億9千万円の剰余金が出て…。さらに、今年度8,500万円を繰入れることは、負担の軽減との説明を聞いても理解に苦しむところです。

本来ルールに則り算出された額を被保険者が負担すべきものと理解しておりますが…。

国民皆保険制度の中にあって、74歳以下で健康保険に加入していない人、生活保護を受けている人以外は、国保に加入することになっており、どこの自治体においても厳しい財政運営になっております。

このため、平成30年度からは県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等国保運営の中心的な役割を担い、制度の安定化を目指すことになっております。

条例制定等

○「市税条例の一部改正」

地方税法の一部を改正する法律、政令、省令が平成29年3月31日に公布されたことに伴い、市税条例の一部を改正されました。

主な内容

※ 住宅ローン控除制度の2年延長

※ 肉用牛売却に係る課税特例の3年延長

※ 優良住宅造成等の土地譲渡の課税特例の3年延長

※ 法人市民税の税率引き下げ（9.7%⇒6.0%）

○国民健康保険税条例の一部改正

政令の一部改正が、平成29年4月1日から施行されたことと、国民健康保険事業の運営に伴う所要の財源確保のため、税率の改正がされました。

今年度も急激な税負担の上昇を抑制するため、一般会計から8,500万円繰入れされます。

1人当たり税額（医療費+支援金+介護）は、113,538円となり、前年度と比較して5.17%の増額となります。

国保税率と1人あたり税額の比較

(単位:円)

		29年度	28年度	伸び	
医療給付費分	税率	所得割	6.72%	6.46%	0
		均等割	27,000	23,500	3,500
		平等割	21,100	18,400	2,700
	1人あたり税額		64,685	59,284	5,401
後期高齢者支援金分	税率	所得割	2.60%	2.60%	0.00%
		均等割	9,000	9,000	0
		平等割	7,200	7,200	0
	1人あたり税額		23,365	23,150	215
介護納付金分	税率	所得割	2.10%	2.10%	0.00%
		均等割	9,600	9,600	0
		平等割	5,500	5,500	0
	1人あたり税額		25,488	25,527	△39
1人あたり税額の合計		113,538	107,961	5,577	

※ 課税対象所得額、被保険者数、世帯数により、1人あたり税額は異なる。

議員発議による条例等の制定

(施行日は共に、平成29年8月1日から)

○本宮市議会基本条例の一部改正

議会の広報、広聴活動の充実を図るため、広報広聴委員会の設置を加える。

○本宮市議会会議規則の一部改正

協議又は調整を行うための場に関する条項を加える。

意見書の提出

○「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

○「大学生への給付制奨学金制度の拡充」を求める意見書

○福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

を、関係大臣などに提出することになりました。



一般会計予算

一般会計の予算は、7,896万1千円増額され合計で135億2,896万1千円となりました。

補正予算（第1号）の主な内容

・ 庁舎自動火災報知設備受信機	更新工事費	4,431千円
・ 防犯灯建設事業補助（柵形地区）		2,500千円
・ 国保財政支援繰出金		85,000千円
・ 老人憩の家整備費（組替減）		△171,584千円
・ 多世代交流施設整備費		171,584千円
・ 異動等による職員給与等		△26,130千円

「未来へつなげる もとみや英国訪問団」

市では、国際感覚や異文化理解の醸成等により本宮市の未来を担う人材育成することを目的とし、訪問団を結成し、7月18日～22日英国のロンドン市を訪問し、ケンジントン&チェルシー王国等との交流が行われます。

これを契機に今後、国際性豊かな人材育成や相互の情報交換・発信等が、継続して行われることを期待したいものです。

※専決処分

報告だけでいいの？

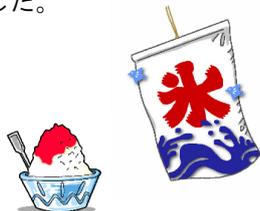
本宮第二中学校グランド拡張造成工事において、拡張部分への防塵対策の追加、掘削時の不良土状況による道路工の増加に伴い、請負契約金額を854万円余り3月31日に専決処分で増額したとの報告がありました。

契約金額の5/100以内で1,000万円以内なら市長の専決処分事項に指定されており、次の議会に報告すれば良いことになっております。

しかし、今回（6月）の定例会まで議会に何の説明もなく行われたことは、議会軽視と言われても仕方がないのでは…。

報告事項だから本会議の中で、質疑は慣例として取り上げないという体制にも問題が…。

聞けない、言えないで議会の役割（チェック機能）が果たせるのか考えさせられました。



今回の一般質問要旨

○高齢者対策について

市では、今年度「生きがいあふれ、こころ通う市民が共に支えあうやさしいまち もとみや」を基本理念に第8次高齢者福祉計画の策定をするところであるが、もとみやに住んで良かったと思える、独自の高齢者支援策を検討する必要があるのではないか。

【返答】本宮市として特徴的な施策を考えて行かなくてはと考えている。

○公共施設等の個別施設計画策定にあたって

公共施設等の総合管理計画は、合併した自治体においては特に合併後の施設全体の快適化を図るうえで重要なことである。平成32年度までに個別施設計画を策定するにあたって、維持更新には財政事情が大きく関わってくると思われる。また、施設の統廃合も認識しておかなくてはならないのではないか。

【返答】施設の統廃合は大きな事業であり、市民を巻き込んだ中での議論が必要である。

○各地区行政の特別職を設けて地域づくりを

昨今地域づくりが重要だというものの十分な体制が取られていない。現行の行政区制度について見直しの必要性を提言してきた経緯もあるが実現に至っていない。各地区に公民館長は配置されているが、教育部門に限定された職域である。地域における諸々のことを総括する特別職を配置し、地域づくりに力を入れるべきでは。

【返答】地域の方々と話し合いながら方向性を見出していきたい。



校庭拡張工事が進む第二中学校（H29.6.27現在）